



NHK放送受信料（以下、受信料）の補助申請を受け付けます。

3月上旬に対象世帯に申請書を送付しますので、あらかじめNHK発行の領収証など必要なものを準備してください。

▷問い合わせ 庶務係（☎223 - 3572）

1 補助対象

町内でNHK放送受信契約を行っている世帯と事業所で、令和6年度分（6年4月～7年3月分）の受信料を支払った人のうち、防衛省からの半額助成を受けてない人で、次の**1**～**4**のいずれかに当てはまる人

- 1** 山鹿地区の世帯
 - 2** 平成30年4月1日以降に芦屋地区へ転入または転居した世帯
 - 3** 芦屋地区で住宅防音工事が完了し、防衛省からの放送受信料助成が終了した世帯
 - 4** 町内の事業所
- ※ 補助金交付申請書が届いていなくても町からの補助対象となる場合がありますので補助要件を確認してください。

2 補助金申請の受け付け

| と き | | と ころ |
|-------------------------------|-----------|------------------|
| 3月7日(金)～31日(日) ※土・日・祝祭日を除く | 午前9時～午後5時 | 総務課庶務係 (役場2階) |
| 3月16日(日) | 午前9時～正午 | 山鹿公民館 |

▷持ってくるもの

- ①申請書（3月上旬に送付予定）
- ②初めて申請する人や振込口座が変わる人は、申請者（世帯主）の預金通帳など金融機関の口座番号がわかるもの（JFマリンバンクは不可）
- ③NHK発行の領収証（令和6年4月～7年3月分）
※令和6年度分の申請は、3月31日(日)を過ぎると受け付けできませんので注意してください。
※郵便での申請も受け付けます（3月31日(日)消印有効）。
※領収証がない場合は下記の**3**を見てください。

3 領収証を紛失した場合、または手元にない場合

NHKに電話をして領収証の発行（再発行）を依頼してください。

電話で「令和6年4月から令和7年3月までの領収証の発行（再発行）をお願いします」と伝えるとスムーズです。

NHKから郵送で領収証が届きます。

領収証を庶務係に郵送するか持ってきて手続きをしてください。

※3月ごろは、NHKの電話窓口が大変混み合うので、早めの準備をお願いします。

※オペレーターの人数には限りがあります。つながりにくい場合は、時間をあけて掛け直してください。

▷領収証の発行（再発行）・受信料に関する問い合わせ（支払い方法により問い合わせ先が異なります）

| 支払い方法 | 問い合わせ先 | 電話番号 |
|--|------------------------|--|
| ・口座振替払い | NHK ふれあいセンター | ☎<0570>077 - 077 または ☎<050>3786 - 5003 午前9時～午後6時（土・日・祝祭日も受け付け） |
| ・クレジットカード払い ・団体一括払い ・継続振込用紙払い ・そのほかの支払い | NHK 北九州局 経営管理企画センター | ☎591 - 5020 午前10時～午後5時（平日のみ） |



体験活動に参加しましょう

体験活動とは、主に「体験を通じて何らかの学習が行われることを目的として、体験する人に対して意図的・計画的に提供される体験」のことで、直接自然や人・社会などに関わる活動を行うことで、五感を通じて何かを感じ、学ぶ取り組みを広く含んでいます。体験活動は、その内容に応じて大きく3つの活動に分類されます。1つ目は、生活・文化体験活動、例えば放課後に行われる遊びやお手伝い、野遊び、スポーツ、部活動、地域や学校で行われる行事などです。2つ目は、自然体験活動、例えば登山やキャンプ、ハイキングなどといった野外活動、星空観察や動植物観察といった自然・環境に係る学習活動です。3つ目は、社会体験活動、例えばボランティア活動や職場体験活動、インター

ンシップです。

また、体験活動は、幼少期から青年期まで、多くの人と関わりながら体験を積み重ねることで、「社会を生き抜く力」に必要な基礎的能力を養う効果があると考えられています。社会で求められる仲間とのコミュニケーション能力や自立心、主体性、協調性、チャレンジ精神、責任感、創造力、異なる他者と協働する能力などを育むためには、さまざまな体験活動が不可欠です。自然の中で、これまで触れたことのないものに触れながら、その存在を認める経験を積むことで、大人になり思いどころにならない状況に直面したときにも対応できる力が付くと期待されています。人間関係をうまく作れない、規範意識が欠けている、ささいなことでも感情を抑えられないなど、子どもが抱えるさまざまな課題解決への一つのアプローチとして、体験活動は有効とされています。こどもの状況と発達段階を慎重に見極めた上で、さまざまな体験活動を経験することで、基本的なコミュニケーション能力や生活習慣を身に付け、社会性や「思いやり」など豊かな人間性を育み、人間関係形成力を育成することが大切です。機会を捉えて、生活・文化体験活動、自然体験活動、社会体験活動に参加しましょう。

リード通信 No. 56

北九州日明浄化センターへ見学に行きました！

令和6年12月26日にリードぼらんでいあキッズ第5回研修会で、日明浄化センターへ行きました。浄化センターでは、浄水場見学や下水道についてのビデオ学習、ミュージアムエリア見学、マンホール見学を行いました。

浄水場見学では、下水道を通って集められた汚水が、「沈砂池」「最初沈殿池」「反応タンク」「最終沈殿池」「消毒層」の順に通る、汚れが徐々に取り除かれて、きれいな水になって海に放流されていることを実際に見て学びました。

ミュージアムエリア見学では、「豪雨体験」や「下水管検査ロボット操作体験」、「災害対策用トイレ」、「下水道についてのクイズ」などがあり、研修生は体験しながら楽しく学んでいました。

研修生は、下水道の仕組みや、家庭から汚水を流すときの注意点を学び、今後の日常生活で水を大切にすることを学びました。

今後も好奇心や自発性、ボランティア活動への興味・関心を引き出す場となるように、ボランティア活動

センターでは、見学や体験も盛り込んだ活動を企画していきます。

▽問い合わせ
ボランティア活動センター
(☎221・1011)

